

■雨宮敬次郎 甲州財閥の一翼をなし、“投機界の魔王”と呼ばれ、独特の公益事業観から多くの会社を設立した。

あめのみやけいじろう

孝明天皇・・・1846＝ 甲斐国山梨郡牛奥村(山梨県塩山市)で、長百姓(庄屋)雨宮惣右衛門の次男に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 7歳：

安政大地震・1855＝ 9歳：

五ヶ国条約・1858＝12歳：通っていた漢学塾を辞め、糸蘭買など季節商いの仲買人を始め、

桜田門外変・1860＝14歳：

江戸横浜と甲州信州間を往来。

禁門の変・・・1864＝18歳：

明治維新・・・1868＝22歳：

学問のすすめ1872＝26歳：横浜に移り、銀相場に手を出し、

明治6年政変 1873＝27歳：蚕種・生糸売込み業も営むなど、浮沈をくり返す。

三つの反乱・1876＝30歳：蚕種売捌きのためアメリカ経てイタリアへ渡航したが、

西南戦争・・・1877＝31歳：失敗して無一物で帰国し、石油取引を始め、

琉球処分・・・1879＝33歳：製粉業を始め、

・・・1880＝34歳：小麦の製粉機を輸入、東京の深川で、**軍需用の堅パン・ビスケット製造工場をつくって、巨利を得たが、**

明治14年政変 1881＝35歳：

新体詩抄・・・1882＝36歳：

大蔵卿大隈重信の内意により、大阪商法会議所会頭五代友厚をたすけて紙幣下落防止に奔走もする。

秩父事件・・・1884＝38歳：***肺病のため死を覚悟し、軽井沢の土地を購入して、開墾・植林を始めると、**

東京市中・山梨県下でも土地買収を進める。

初の対等条約1888＝42歳：***甲武鉄道の取締役になって、鉄道に関与し始め、**

帝国憲法発布 1889＝43歳：

足尾鉍毒始・1891＝45歳：**第1回藍綬褒章。川越鉄道の発起人、**

大本教・・・1892＝46歳：**東京市の水道施設計画に応じて、月島に日本鑄鉄会社を設立、**

郡司千島探検 1893＝47歳：**北海道炭鉱鉄道取締役。東京市街鉄道事業を発起し、福沢・星亨派と認可を争い。京浜電気鉄道も発起。**

日清戦争始・1894＝48歳：**豆相人車鉄道を創業。日本鑄鉄会社社長。**

日清戦争終・1895＝49歳：**京浜電気会社社長。東京市水道鉄管疑獄で収監されたが証拠不十分で予審免許、出獄後、仙人鉄山を経営。**

Bushidou・・・1899＝53歳：福沢・星らと三派の妥協成り、

ビアノ国産化・1900＝54歳：

田中正造直訴 1901＝55歳：**東京商品取引所理事長。**

日比谷公園・1903＝57歳：***合同して東京市街鉄道株式会社を設立し、その取締役会長となるに至る。**

日露戦争終・1905＝59歳：**江ノ島電気鉄道社長となり、**

満鉄発足・・・1906＝60歳：**東京電車鉄道・東京電気鉄道との乗車賃値上協定に反対して同社を辞任後も、**

物産振興を唱えて各地に軽便鉄道会社を設立するなど各種事業経営にあたり、

伊藤博文暗殺 1909＝63歳：

大逆事件判決 1911＝65歳：**没した。**

相場師として出発しながら早くから鉄道国有論を唱え、東京市街鉄道発起にあたっては株式所有を1人2百株に限ることを主張し、東京市街鉄道成立後に三井の益田孝から促された東京電車鉄道(馬車鉄道)との合併問題に際し、運賃3銭均一を発表して合併派の機先を制するなど独特の公益事業観の持主で、景気変動を追っての商略から“投機界の魔王”と呼ばれた。

インターネット、